

SANSHIN GROUP
Monthly Report on the ESG
Jan.2019



INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report (品質)
4. ESG Report (環境)
5. ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンホウ

TOP MESSAGE

米中貿易戦争、日韓外交問題など、キナ臭い世界の動向がマスコミから報じられるなか、環境問題に関する話題はほとんど見かけなくなった。トランプが離脱表明したパリ条約は、どうなったのだろうか。国内では、福島原発の除染作業はどうなっているのだろうか。環境問題に対する意識、優先順位が、よく分かる。

サンシングループ
代表取締役社長
石井 宏宗

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

朝晩冷え込む日が続きます。車を運転する時、エンジンを掛けてから水温計が安定するまでアクセルの強い踏み込みや高速走行は控える「暖機運転」をすると燃費の向上に繋がります。ガソリンは温度が低い時は揮発性が低く燃焼効率が悪い為、エンジンが冷えていると多くの燃料を消費します。(G.S.)

SANSHINCentre

日産が欧州のディーゼル車市場より撤退する記事を読みました。この話は、時代の変化のひとつかと思えます。もともと人気のディーゼル車ですが環境対応で売れなくなってしまったことにより、欧州のみならず、各地で環境対応自動車への切り替えが始まるのが撤退に繋がったと思えます。(M.M.)

CSI

今年もセブ最大のお祭りシノログが1月20日(日曜日)に行われる予定です。携帯電話を使用しての遠隔操作ボム爆発を懸念し、前日と当日2日間、セブ市内(LAPULAPU含)祭りの周辺のインターネット及び携帯電話を不通にする予定との事。今年もテロが起きないように願っております。(K.S.)

SC2

壊れたアンプを修理した人が、故障原因を検証したブログ記事を読みました。結論から言うと衣類の柔軟剤に含まれる人工香料、それを包むマイクロカプセルが原因だそうです。「絶縁されていれば接触不良で発熱や接点異常。断線へ。電圧が高くて導通すれば漏電 ショート。トラッキング現象とか言われているコンセントの発火事故へ・・・」と懸念が書かれていました。マイクロカプセルは海の汚染問題にもなっています。命に関わる問題、今すぐ改善しましょう！(M.I.)

SANSHINWest

最近では地元のスーパーによく買い物に行きますが、できるだけ地産地消の商品を買うようにします。近場で作られた野菜・肉などを買うと、運送によるCO2排出量などを削減できるそうです。また地域の活性化にも繋がるそうで、皆さんもいかがでしょうか。(K.M.)

SHINKOWA

最近では雨が降らず、非常に乾燥した気候になっています。千葉工場がある八街市はこの時期強風が吹くと「やちぼこり」という、畑の土が舞い上がって上空が茶色くなる程の土煙が発生する事があり、成田空港の離着陸が出来なくなることもあります。(M.N.)

SANSHIN HongKong

2年前頃、皆買い物をした際、ほとんどポリ袋を使用してリサイクルもせずに使い捨ててしまいました。現在、どんな販売店でもポリ袋を無料供給してくれません。リサイクルできる袋を用意し、エコバッグを利用してショッピングする人も増えました。環境を大切に意識が向上していることを感じます。(P.L.)

STH

「はたらく細胞」という漫画をご存知でしょうか？夏～秋にかけてアニメも放映されていたそうです。体内の様々な細胞を擬人化した作品ですが、生化学をとともわかりやすく表現していて秀逸です！読んでいるうちに自分の体を大事にしようと思えてくるから不思議です。切り傷で血が出て「ああっ血球さんが！（赤血球・白血球・血小板など）」とかですね（笑）ご存知ない方、是非一読ください！お勧めです。(M.I.)

ESG Report (品質)

今月のTOPICS

蓄積すれば大きな生産性になる

誰でも自分の生活を積極的に良くしていこうという努力をしていることでしょう。大抵ができるだけ生産性を上げようというものです。しかし、絶えず生産的であろうと自分を叱咤するのが、かなりのストレスになることもあります。生産性向上を目指すうちに、やっていないことすべてに対して自分を責めることはやめてください！

1. 完璧であらうとしない

尊敬出来る人物でさえ完璧ではありません。多くの人が何かしらの不満を抱えているか、まったく取り掛かることができずにいることがあります。途中で挫折したら生産性がなくなったり、他のもののほうがうまくいくことに気づくかもしれません。生産性に効果があると思ったものがある場合は、それだけをもう一度取り上げてみましょう。まったくなにもしないよりも、少しやるほうがましです。

2. 完璧であることの欠陥を理解する

すべてを極端に論理的にしようとしたり、結論づけようとするのは、実際にはあまり良いとはいえません。完璧で生産的な人生を送りなさいとアドバイスされて、すべてを完璧にやろうとしたら、どんなに効率よくやるかに関係なく、ただ生きるための時間がなくなります。自分の生活の質が下がるにつれて、仕事のすべての価値も下がります。アドバイスされたことをすべてやろうとするのではなく、**大事なものをいくつか選びましょう。**

3. 今いるところからはじめる

自分よりも先に進んでいると思う人に対する競争心は、生産性のモチベーションになることはよくあります。相手に追いつこうとするのは、常に相手との差を見ていることになるので、間違った考え方です。

その差が、**自分自身や自分の人生に欠けているもののように感じるからです。**そうではなくて、自分自身のことを考えましょう。

常に「**前回よりも良い結果のために、少し違うようにやるにはどうすればいいか？**」と考えましょう。

やらなければならないのは、一歩前に進むことだけです。それで十分生産的です。今すぐすべてを終わらせる必要はないのです。

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、
Man (担当者)、Measurement (計測)

段取り

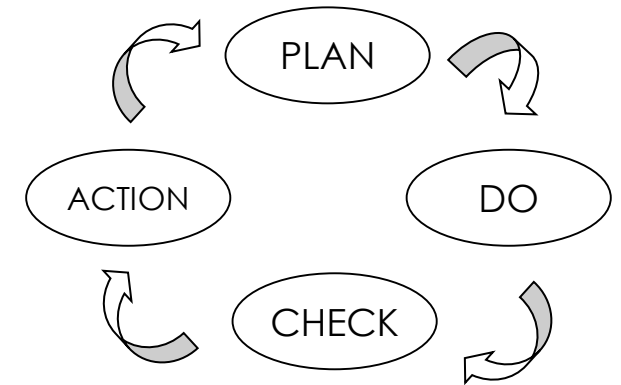
<仕事の段取り5W3H>
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

行動

<製造の基本である3現主義>
現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



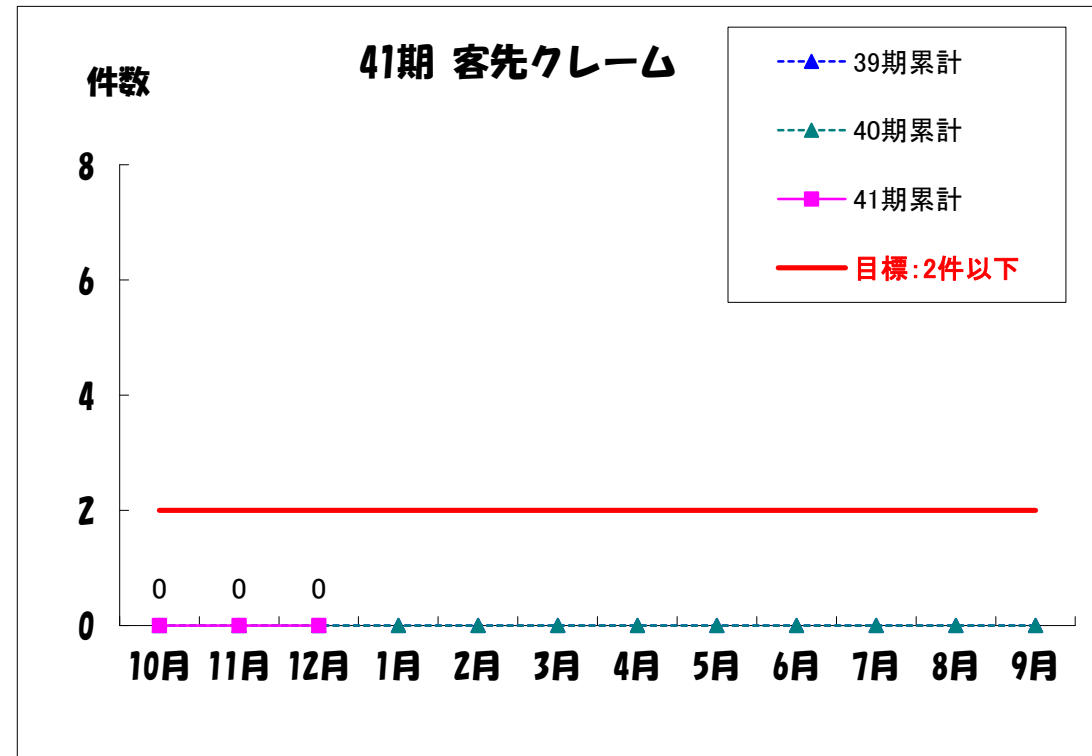
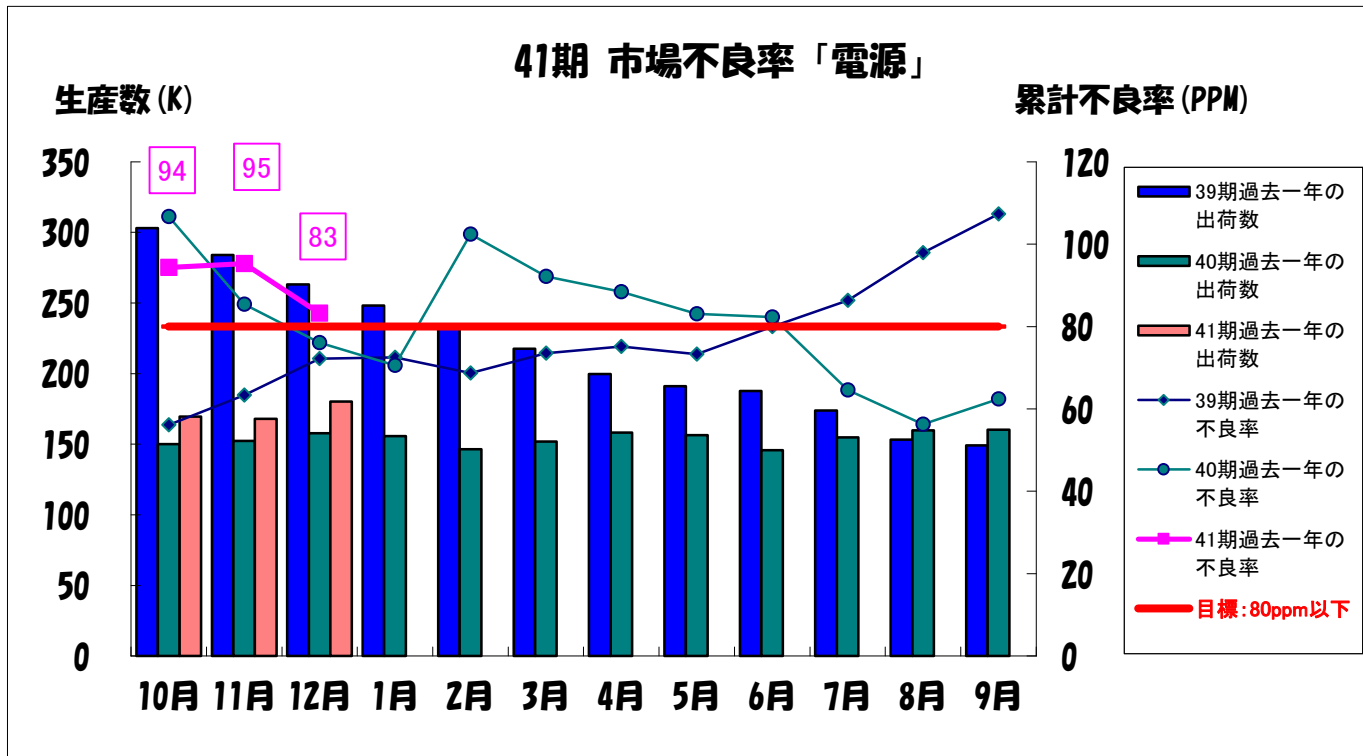
- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

品質状況

納入不良率 目標 80ppm

41期の累計不良率は、83ppm です。
 市場不良累計(過去1年分) : 15件 客先クレーム : 0件



ESG Report (環境)

今月のTOPICS

□ 日本の食品ロスと世界の取り組み

☑日本の食品ロス問題

日本の国民一人当たりの食品廃棄物は世界で6番目、アジアではトップです。年間の食品ロス、つまりまだ食べられるのに食品が捨てられている年間の量は約641万トンです。これは牛丼一杯を400gとした場合、150万杯以上食べることができる計算となります。日本の食品ロス約641万トンの内訳をみると、スーパーや飲食店などの事業系が約349万トン、家庭系が約292万トンと、家庭からも半分近くの食品ロスが発生しています。世界中で飢餓で苦しんでいる人への食糧援助量は約320万トン。つまり、その2倍の食べ物が日本では捨てられています。

(参考) 日本の食品ロスの大きさ

- ・日本の食品ロス（年間約500～800万トン）は、世界全体の食料援助量の約2倍
- ・日本のコメ生産量に匹敵し、日本がODA援助しているナミビア、リベリア、コンゴ民主共和国3カ国分の食料の国内仕向量に相当



■日本の食糧自給率は先進国の中でも一番低い

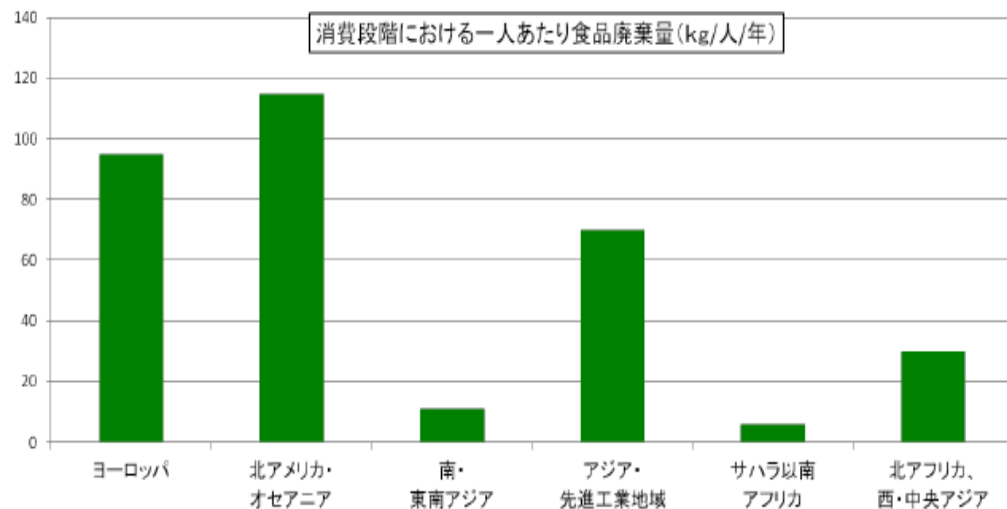
日本の食料自給率は現在39%（平成23年度）で、大半を輸入に頼っていますが、その一方で、食べられる食料を大量に捨てているという現実があります。



今月のTOPICS

世界の食品廃棄の状況

FAOの報告書によると、世界の食料生産量の3分の1にあたる約13億トンの食料が毎年廃棄されています。先進国ではかなりの割合が消費段階で無駄にされるが、開発途上国では消費段階の廃棄は極めて少量です。



農林水産省資料を基に消費者庁にて作成
 出典：「Global Food Losses and Food Waste(2011)」(FAO)
 【参考】「平成21年度食品ロス統計調査」(農林水産省)

各国における食品廃棄物の発生量

	日本	韓国	米国	英国	ドイツ	フランス	スウェーデン
食品廃棄物の発生量(万トン)	1,713 (2010年度)	約490 (2010年)	5,540 (2009年)	約1,400 (2006年)	約1,100 (2012年3月公表)	約2,210 ※食品を含む有機性廃棄物	約101 (2010年)
内訳(万トン)	食品製造業：271 食品卸売業：22 食品小売業：119 外食産業：229 家庭系：1,072	製造業除く	食品製造：292 小売(卸売、飲食店を含む)：1,878 家庭：3,370	食品製造業流通：約260 家庭系：約830 学校・病院：約260	産業工業製造業由来：185 流通由来：5.5 一般家庭由来：667 外食由来：190	食品製造者：560 その他事業系：130 家庭系：1,520	食品製造業：17 外食産業：約10 家庭：67.4
一人当たりの食品廃棄物排出量(kg/人)	134	約100	179	約225	約135	約352	約108

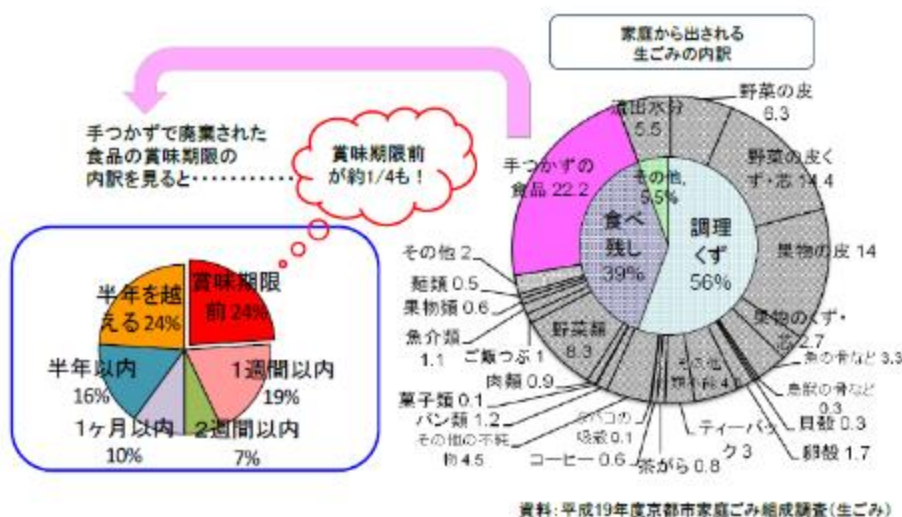
下記出典の資料を基に消費者庁にて抜粋

出典：平成25年7月31日 食料・農業・農村政策審議会食料産業部会食品リサイクル小委員会(第9回)及び中央環境審議会循環型社会部会食品リサイクル専門委員会(第7回)合同会合(第7回)における資料1「各国における食品リサイクル等の実施状況」

今月のTOPICS

☑日本の食品ロスが多い理由

日本の食品ロスは賞味期限が関係していると言われています。賞味期限が間近になったものはスーパーやコンビニで返却や廃棄などの対応が迫られます。私たちも日常生活のなかで、例えば牛乳を買うときに賞味期限が長いものを選びがちです。日本人は安全意識が高く、おいしく・安全にという個人個人の努力が食品ロスを生み出している原因にもなっています。ちなみにアメリカの廃棄の主な理由はレストランが提供する食事の量が多すぎる、家庭では無計画に大量に買い込んだ食料を使い切れずに廃棄されるなどが多いようです。日本では、スーパー、コンビニの返品による廃棄が多く家庭では古くなって食べたくない等、製造年月日に過敏すぎる様です。



※日本の賞味期限は世界に比べて短い

日本には「3分の1ルール」というものが存在します。スーパーなどのお店では常に新鮮なものを売りたいという経営努力で、消費者側のニーズに答えようとしているためにこういった食品業界独自のルールがあります。しかし、これが食品ロスへつながっていることも事実です。

Ex.賞味期限が製造から6ヶ月の食品の場合

- ・食品メーカーからお店への納品期間は2ヶ月
食品メーカーもしくは卸売業者が食品を製造したけれども売ることができずに、2ヶ月(3分の1)を超えて保管している場合、食品は返品・廃棄となり食品ロスになります。
- ・お店での販売期間は2ヶ月
食品メーカーから2ヶ月以内に出荷できた商品はスーパーやコンビニなどのお店に売られることとなりますが、これも2ヶ月を超えた時点(食品製造から4ヶ月を超えた時点)で返品・廃棄となり食品ロスになります。
- ・消費者が食品を食べられる期間は2ヶ月
残りの2ヶ月は消費者が食べられる期間として設定されています。

今月のTOPICS

世界の食品ロス対策

日本でも食品ロスが問題視され、企業が色々な取り組みを行っていますが、ヨーロッパでは特に食品ロスへの関心が高いです。



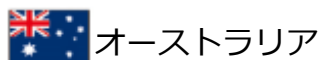
世界初の「食品廃棄禁止法」が大型スーパーに対して2016年に施行され、売れ残った食品の廃棄は禁止されています。スーパーへはボランティア団体への食品の寄付を義務付けています。フランスでは法的に義務化することで食品ロスを減らす取り組みが行われています。



街中に「フードシェア」と言われる冷蔵庫が設置されています。住人が余った食材を入れて誰でも自由に使える仕組みが存在します。作りすぎた料理を廃棄せずに誰かに食べてもらうことや、レストランで食事をして余ったら食品を持ち帰ってフードシェアに入れることもあるようです。



レストランなどで売れ残ったメニューを袋詰めにして道路に置いておきます。それをホームレスに無料提供している店があります。少しでも無駄をなくして、食品ロス対策をすることで生活困窮者を支援する取り組みが行われています。



オーストラリアでは一風変わったスーパーがあります。一見、普通のスーパーのように見えますが、すべて賞味期限間近の食品ばかりです。しかも、すべて無料で提供されています。そのかわり、利用者は可能であれば寄付をお願いするというシステムです。

サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。



活動報告

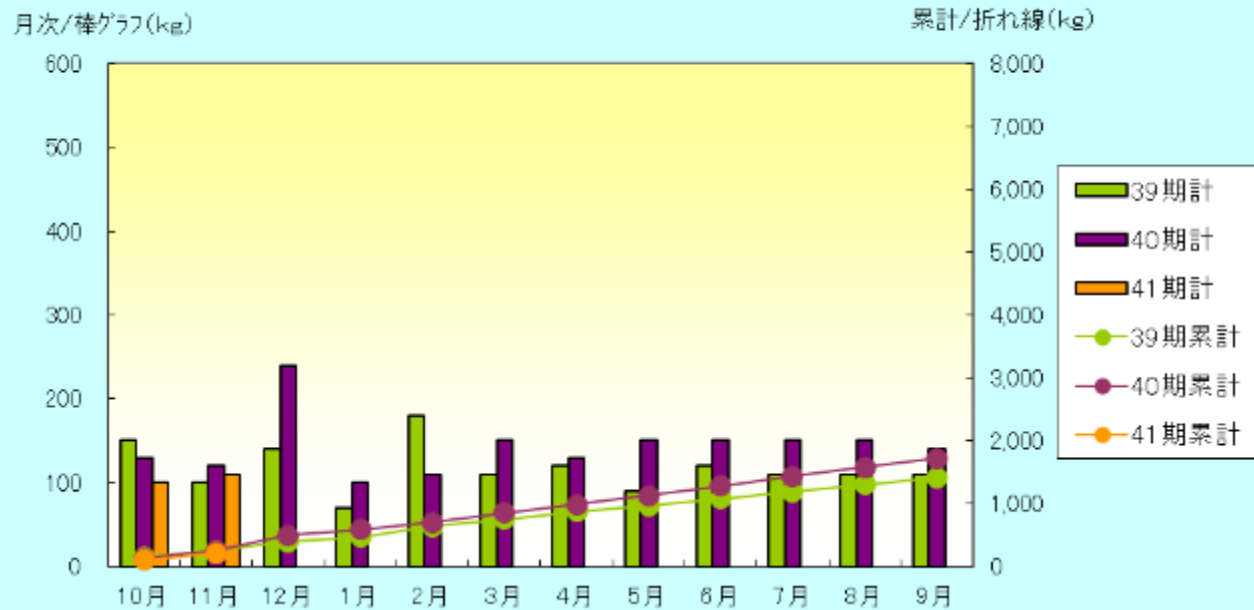
- ①環境への取り組み
- ②廃棄物排出量
- ③コピー用紙使用量
- ④電力使用量
- ⑤切手・ペットボトルキャップ回収

環境への取り組み

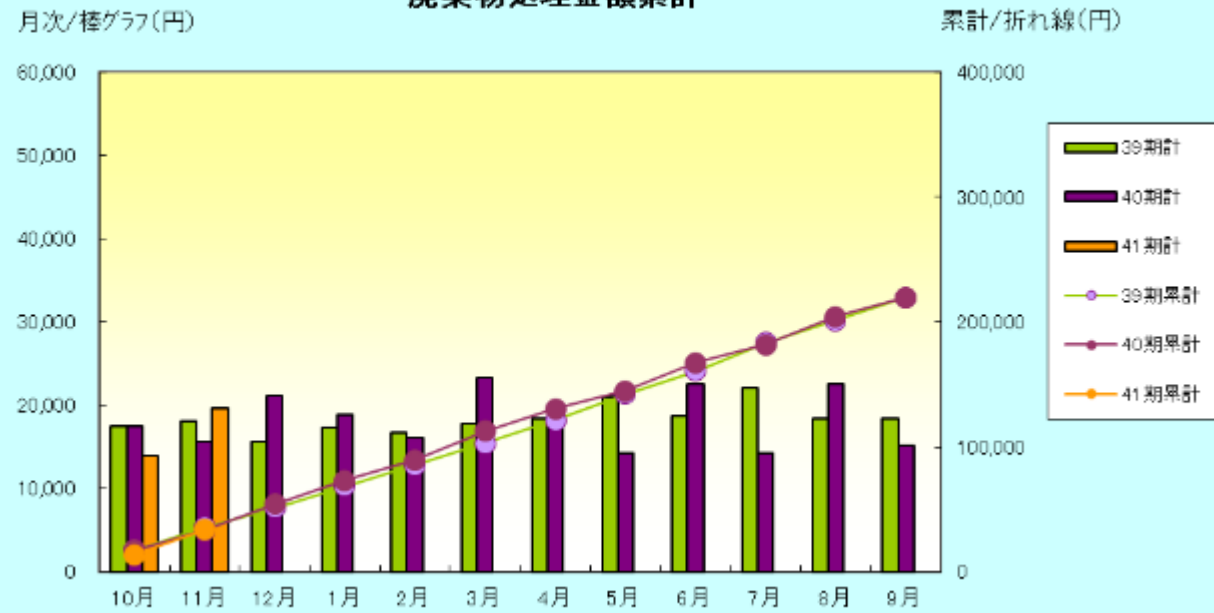
- ▶ 災害地域への義援金や植樹活動支援金の募金活動
- ▶ ソーラーシステム導入による再生エネルギーの活用（SSD headquarters & SHINTO）
- ▶ 年に一度、植林を実施（CSI）
- ▶ 省エネルギー機器の開発・販売を通じた環境への貢献
- ▶ ROHS対応部品の使用促進による環境負荷低減
- ▶ ペットボトルキャップ・使用済み切手の回収
- ▶ ウェアラブルカメラを導入し、5S活動を徹底（CSI）



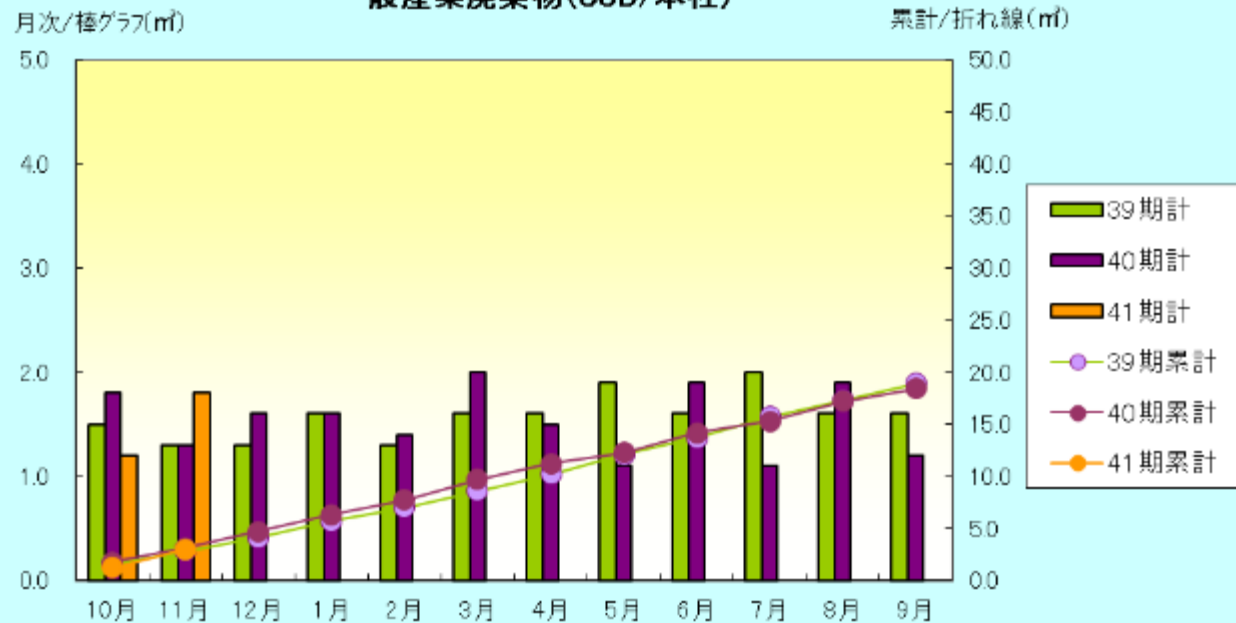
一般廃棄物(SSD/本社)



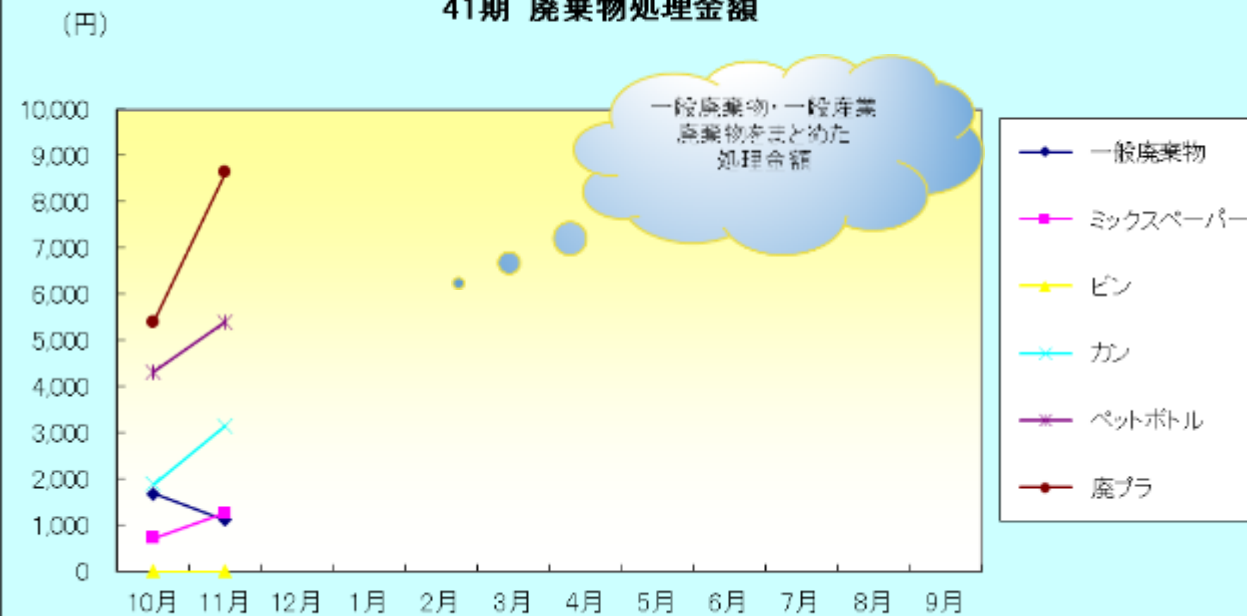
廃棄物処理金額累計



一般産業廃棄物(SSD/本社)



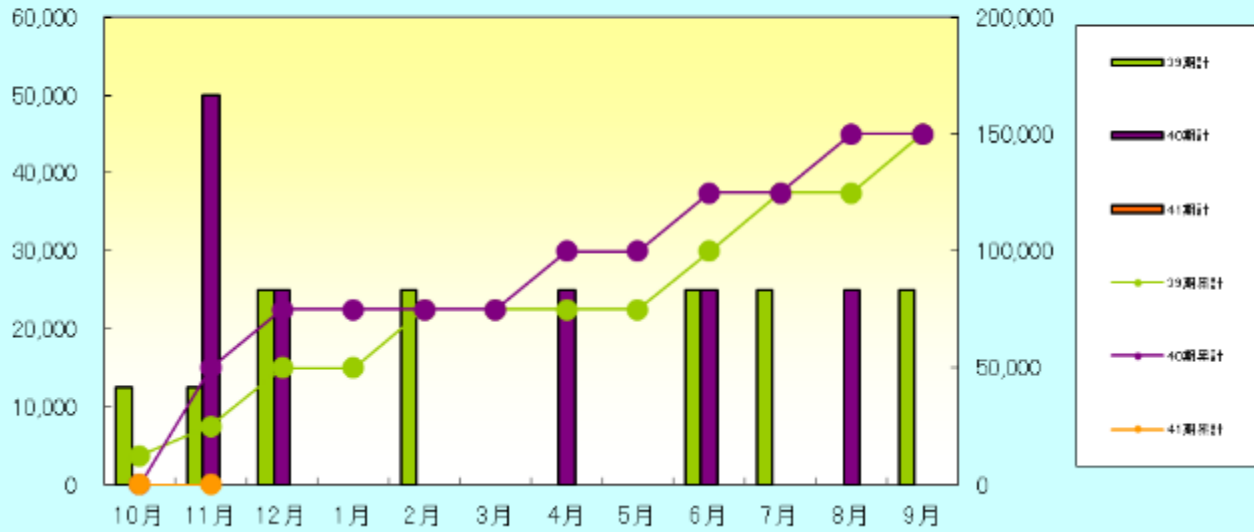
41期 廃棄物処理金額



コピー用紙購入量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(枚)

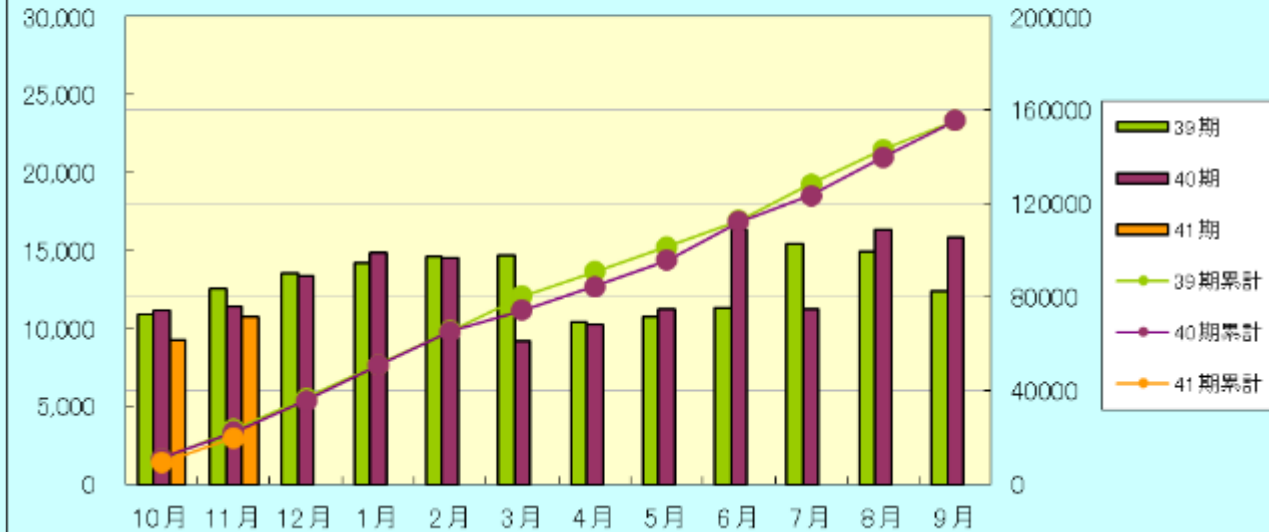
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(kwh)

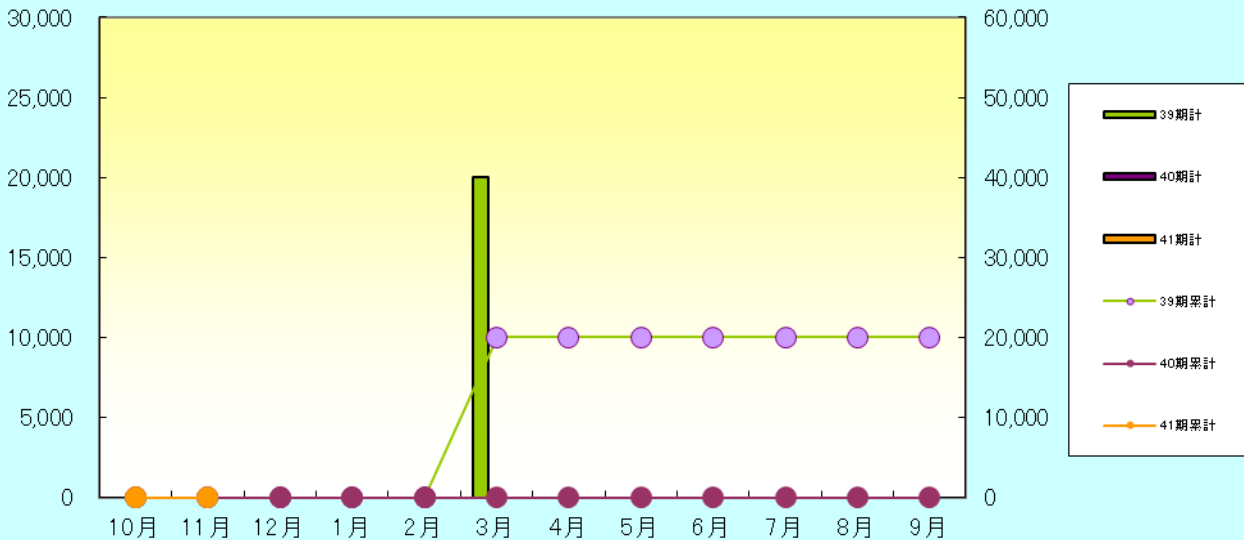
累計/棒折れ線(kwh)



コピー用紙購入量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(枚)

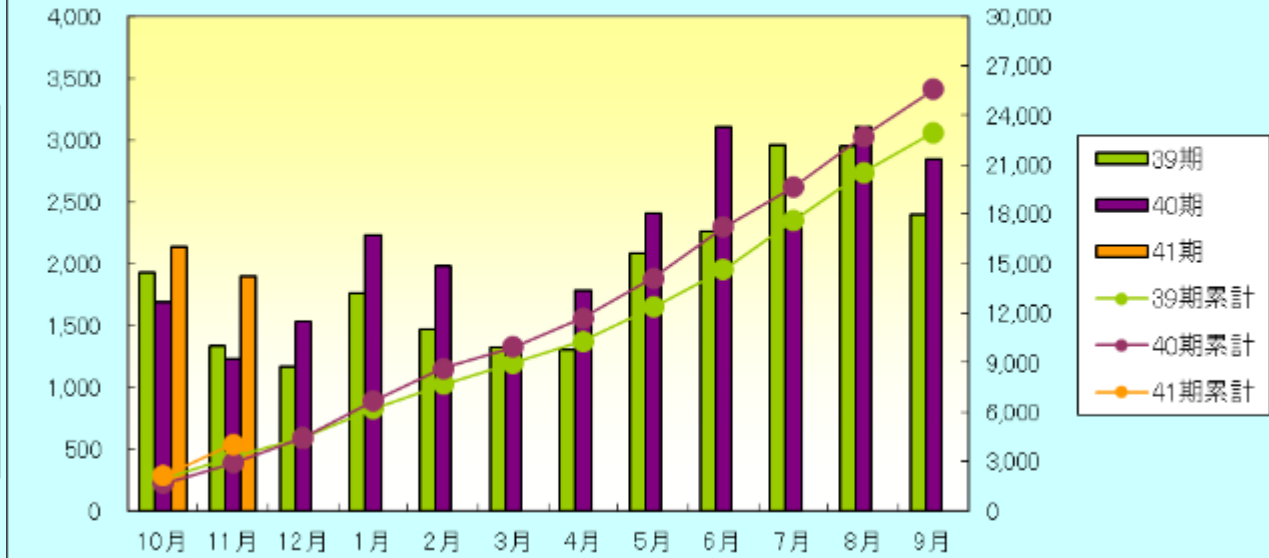
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(kwh)

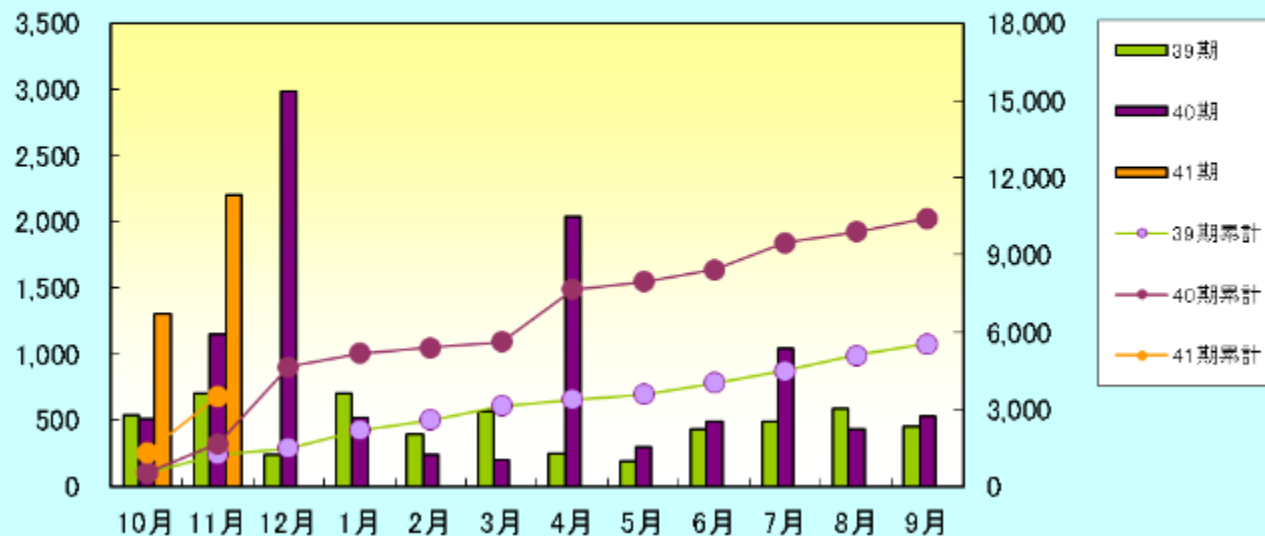
累計/折れ線(kwh)



ペットボトルのキャップ

月次/棒グラフ(個)

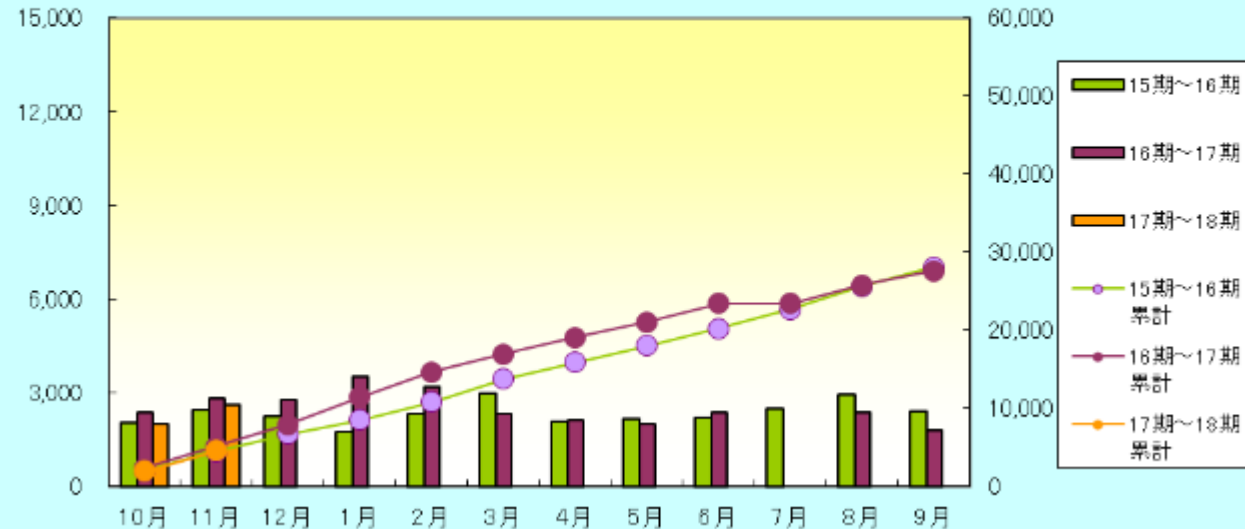
累計/折れ線(個)



電力使用量(SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ(kwh)

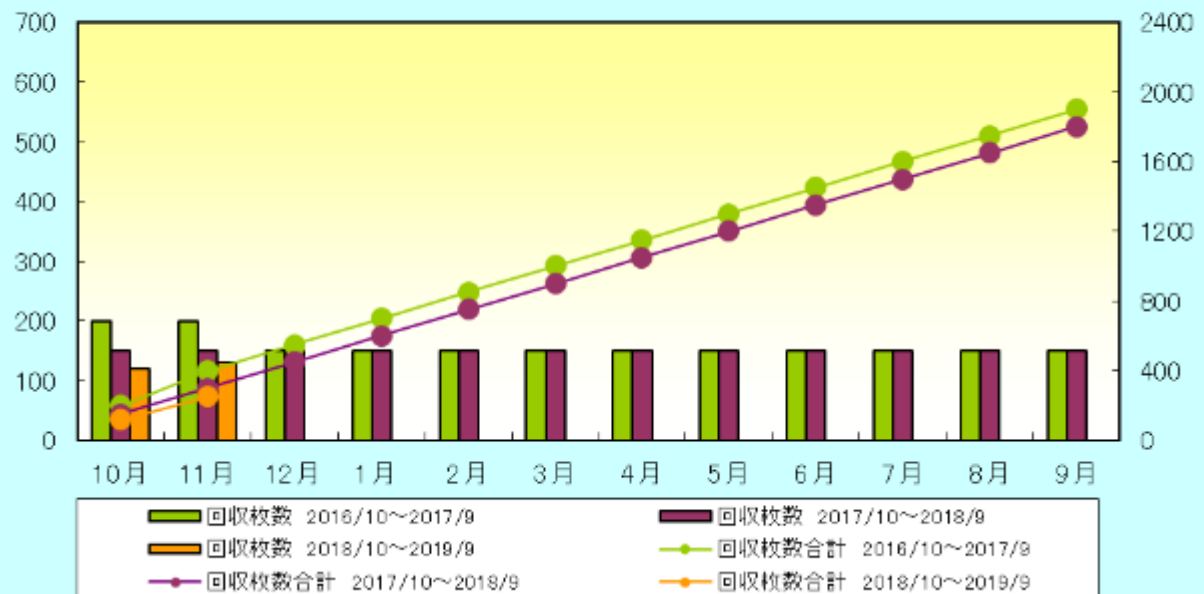
累計/折れ線(kwh)



使用済み切手回収

月次/棒グラフ(枚)

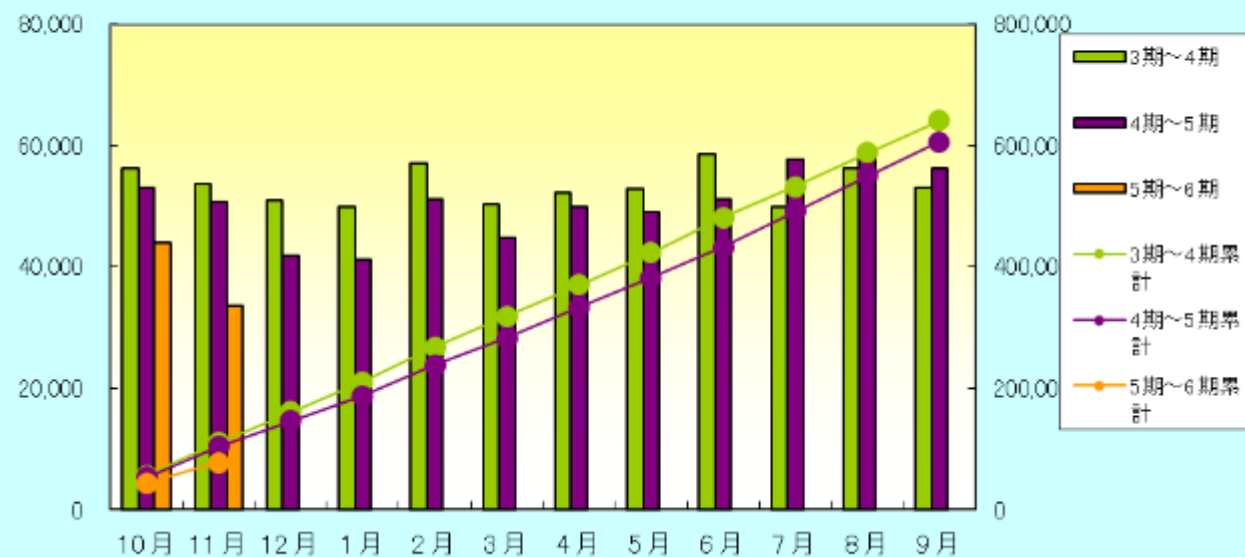
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SKW/CSI工場)

月次/折れ線(kwh)

累計/折れ線(kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

●サンシン大学ビジネス実務セミナー『副業の税務と個人の確定申告』

サンシン大学の一環として、大平宏税理士事務所 所長代理
1級FP技能士 中山慎吾氏を講師にお迎えして、ビジネス実務セミナー
『副業の税務と個人の確定申告』と題してご講義頂きました。

当社では昨年10月より副業・兼業を認める制度をスタート致しました。
セミナーでは、昨今注目を集めている働き方改革の概要や労働者への
影響を踏まえ、副業を行うに当たり注意すべき税務上のポイントを
分かり易く教えて頂きました。

個別の税務相談の機会も頂き、大変充実したセミナーとなりました。
講義は、国内外のサンシングループ全拠点に一斉にWEB配信されました。



活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（12月参加人数：延べ9名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（シグマ・フード・サービス）
- 動物介在ボランティア活動実施（シグマ・フード・サービス）
- 季節の飾り物をエントランスにディスプレイ：門松&正月飾り

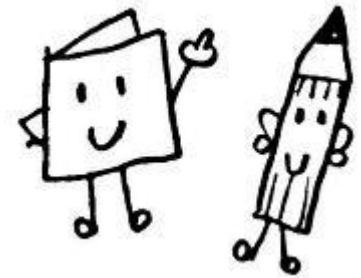


ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績5名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 永年勤続者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 毎年インフルエンザワクチンの予防接種費用を会社が補助
- 2ヶ月に1回、マッサージ・リフレクソロジーサービスを実施（女性を中心に10名／回参加）
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2018年5月更新）
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2018（中小規模法人部門）」の認定取得（2018年2月）⇒2年連続！
- 東京都より「平成30年度スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「平成30年度スポーツエールカンパニー」の認定2年連続取得（2017年・2018年）

人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・新製品紹介・英会話・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAを全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能



サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers

We're loved by our customers

*Always be a Virtuous **Shonin***

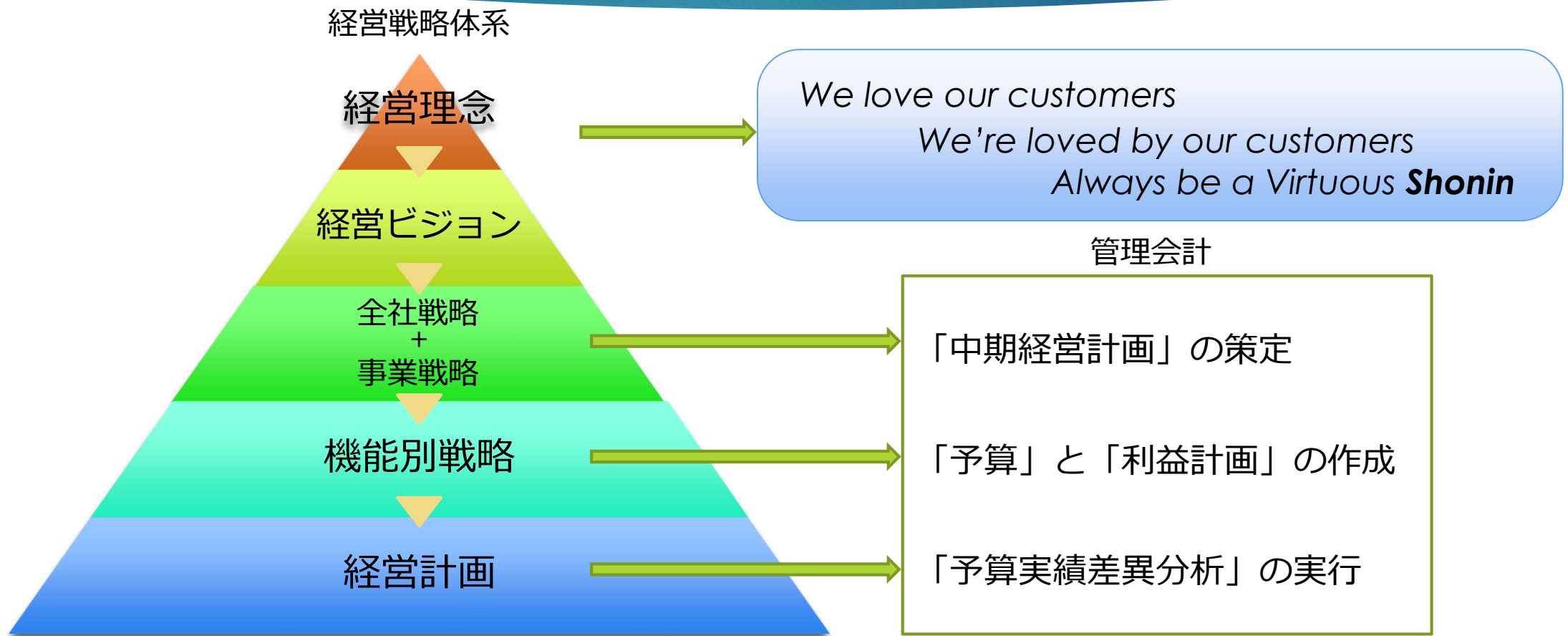
Virtue as a Shonin

It is important for us to have Virtue as a *Shonin* in order to secure our customers' approval and support at all times.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

経営戦略体系と管理会計のかかわり



サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

■ CSR及び環境経営

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

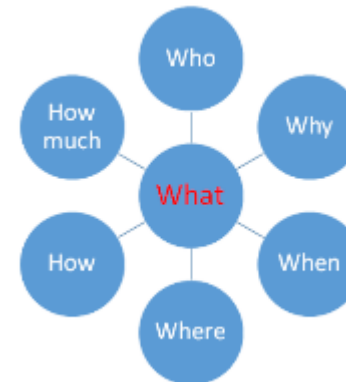
マネジメントシステムの基本構成



マネジメントシステムのレビュー



ビジネスの5W2H

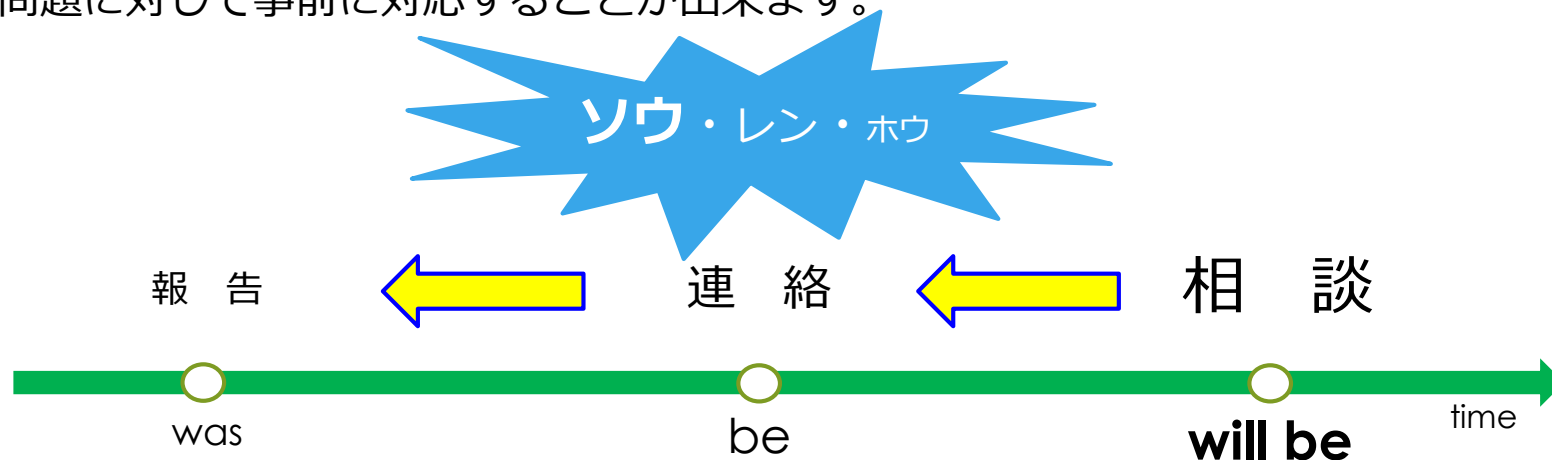


PDCA→P' サイクルの概念



未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、2011年



編集
後記

SSD HR&GA Sect. Y.M.

新春のお慶びを申し上げます。年始早々インフルエンザA型に家族で罹患しました。家族内で発症のタイミングに数日の差があったため、何とか乗り切った感じですが、数年ぶりにインフルエンザの怖さをまさに体感しました。ニュースでは重症化するケースや新薬の耐用性や副作用についてなど日々報道されています。皆様も少しの異変でも早めに医療機関で受診されますことを強くお勧め致します。特に小さいお子さんや受験生、ご高齢のご家族のいらっしゃる方は、早めの判断、行動が大切です！